

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

2月4日（火）に那須塩原市三島ホール・公民館において、「めざせ！地域のワン チーム～わたしもあなたも つながる つなげる～」をテーマに、那須地区ふれあい学習ネットワーク兼地域教育コーディネーター養成研修を開催しました。

この研修会は、子供の教育を学校だけに委ねるのではなく、地域社会全体で子供たちを育むために、学校・家庭・地域社会が積極的に連携・協働できるよう、お互いが共通理解を図り、共通行動がとれるようにすることを目的としています。当日は、本地区の教職員やPTA、地域教育コーディネーター等を中心に、163名の参加をいただきました。

◇第1部 問題提起◇

現在、各地域では、地域と学校の連携・協働の取組が推進され、体制も整いつつあります。これらの取組を更に充実させるためには、地域の誰もが「当事者意識」をもつことが大切であると考え、那須地区ふれあい学習推進委員が、寸劇を通して分かりやすく問題提起をしました。参加者からは、「地域連携やコーディネーターについて知ることができ、とても参考になる内容でした。」「地域と学校のつながりについて、まして20年後のことなんて考えたこともなかったです。一つの気付きになりました。」などの声があり、その後の分散会につなげることができました。



寸劇で熱演するふれあい学習推進委員

◇第2部 分散会◇

第2部では、参加者の日頃の取組等が参考にできるよう、様々な立場の方が3市町混合になるよう班編制をしました。それにより広域的な情報交換ができ、最後まで熱心な話合いが繰り広げられました。班別協議では、「仲間を増やして、つなげていこう」をテーマとして、地域と学校の連携・協働が持続可能な取組となるようなアイデアを出し合いました。「様々な立場から見える現状や課題があり、それを解消するための小さなヒントをいただくことができました。それぞれが当事者意識をもつことが大切だと、改めて実感しました。」「参加した方と、熱く地域・学校のことを話せて、とても良かったです。」などの感想をいただきました。今後、一人でも多くの方が当事者意識をもって、地域連携活動に取り組んでいただければと思います。



○ワン チーム！ふれあい学習推進委員

那須地区ふれあい学習推進委員13名の皆様には、ふれあい学習ネットワークの企画から当日の運営まで、積極的に取り組んでいただきました。寸劇のアイデアを出し合ったり、当日の問題提起や分散会を協力して行うなど、まさに“ワン チーム”での活動でした。

